

取扱説明書

A-dec 511

歯科用椅子



a dec®

著作権

© 2020 A-dec Inc. 無断複写・複製・転載を禁ず。

A-dec Inc. は、本書の商品性や特定目的適合性に関する暗黙的保証を含むがこれらに限定されない、いかなる保証も行わないものではありません。また A-dec Inc. は、本書に含まれる誤りや本書の提供、その履行、あるいは使用から派生するいかなる損害についても責任を負いかねますので予めご了承ください。本書の情報は、通知なく変更される場合があります。本書について不適切な記載を見つけた場合には、書面にて当社までご連絡ください。

A-dec Inc. は、本書に誤りが無いことを保証するものではありません。

本書のいかなる部分も、A-dec Inc. の書面による事前許可なくして、電子的もしくは機械的の別を問わず、いかなる形式や方法であっても複写、改ざん、提供してはなりません。これには、写真複写、記録、何らかの情報蓄積や情報検索方式などが含まれます。

商標およびその他の知的所有権について

A-dec、A-dec ロゴ、A-dec Inspire、Cascade、Century Plus、Continental、Decade、ICX、ICV、Performer、Preference、Preference Collection、Preference ICC、Radius、および reliablecreativesolutions は、米国およびその他の国における A-dec Inc. またはその関連会社の登録商標です。また、A-dec 500、A-dec 400、A-dec 300、A-dec 200、EasyFlex も A-dec Inc. の登録商標です。本書に掲載されているいずれの商標および商号も、商標の所有者から書面による明示的な許可を得ることなく、いかなる方法でも再現、複写、または編集することはできません。

タッチパッドの記号およびアイコンには、A-dec Inc. の専有情報であるものがあります。これらの記号やアイコンの使用は、全体か一部かを問わず、A-dec Inc. から書面による明示的な許可を得ない限り、固く禁じられています。

規制に関する情報および保証

当局から指定された規制に関する情報と A-dec の保証については、『規制情報、仕様、および保証書』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、www.a-dec.com のリソースセンターから入手できます。

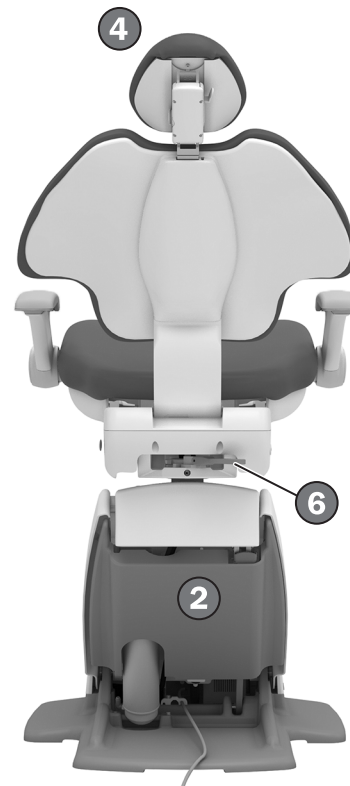
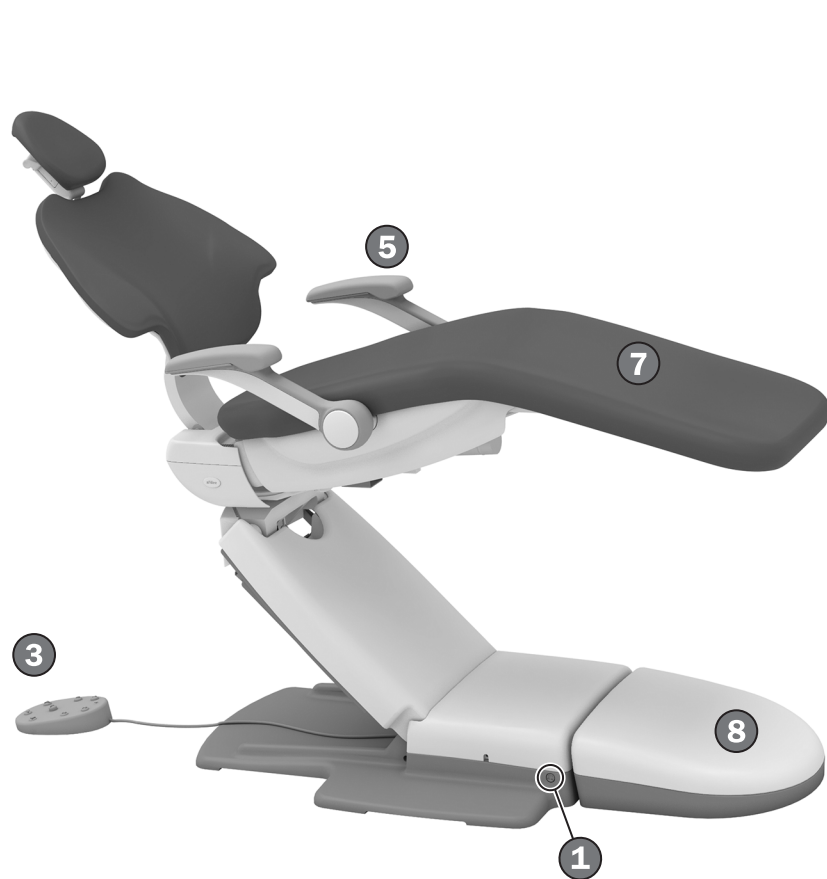
製品の保守点検

製品の保守点検については、最寄りの A-dec 正規取扱店にご連絡ください。保守点検の詳細や正規取扱店の所在地については、www.a-dec.com をご覧いただくか、A-dec までお電話ください (米国またはカナダ: 1.800.547.1883、その他: 1.503.538.7478)。

本書で取り扱う機種とバージョン

| 機種 | バージョン | 説明 |
|-----|-------|-------|
| 511 | B | 歯科用椅子 |

内容マップ



特徴/トピック

| | |
|--------------------------------|----|
| ① 電源ボタン | 2 |
| ② チェア停止プレート | 3 |
| ③ フットスイッチ/チェアの コントロール | 4 |
| ④ ヘッドレスト | 7 |
| ⑤ アームレスト | 6 |
| ⑥ チェアの旋回ブレーキ | 9 |
| ⑦ 張地の手入れ方法 | 10 |
| ⑧ ユーティリティ | 11 |
| 仕様 | 12 |

操作/調節

電源オン/オフ



デリバリーシステムとサポートシステムを備えたチェアー

チェアーにシステムが取り付けられている場合は、スタートグリスイッチを使って、電源、水、空気をオンに切り替えます。通常、スタートグリスイッチはデリバリーシステムの下にあります。デリバリーシステムのないチェアーではサポートセンターまたはフロアボックスに付いている場合があります。

システムの電源が入らない場合は、チェアーの電源ボタンを確認してください。チェアーの電源がオンになっていないと、スタートグリスイッチによるシステム電源の制御はできません。

チェアーのみの構成

チェアーのみの構成をご利用の場合は、チェアーの電源ボタンを押して電源のオン/オフを切り替えます。

電源をオフにすべき状況

省エネ対策と空気漏れ防止のため、1日の診療後や長時間使用しない際には電源をオフにしてください。

チェアーの安全機能



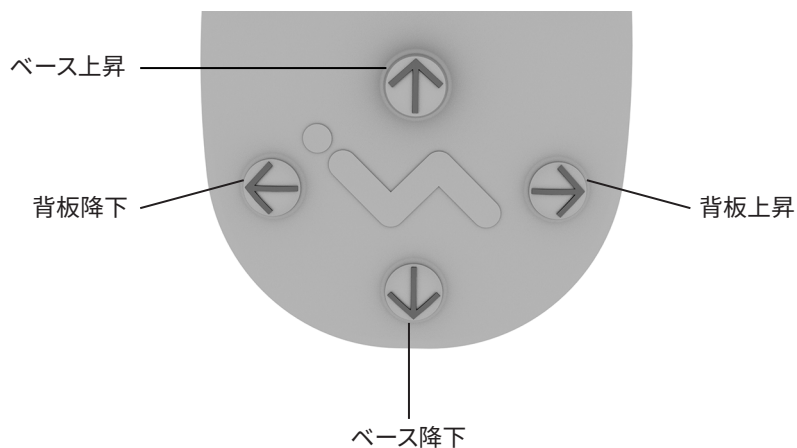
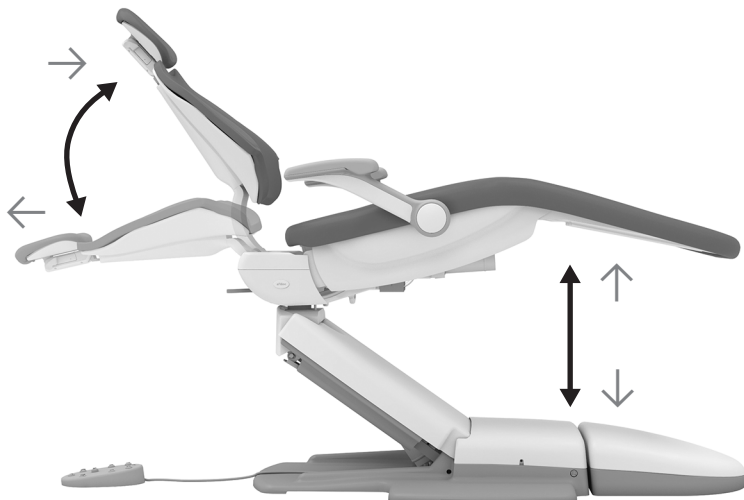
A-dec歯科用椅子とシステムには、チェアー停止プレートなどの安全機能が搭載されており、チェアーの動きが停止したり、チェアーが動作しないことがあります。チェアーの動きが妨害される場合は、次のような原因が考えられます。

- チェアーや接続モジュールの下に障害物がある。
- フットコントロールディスクやレバーが押されている。
- ハンドピースがホルダーに正しくセットされていない。

チェアーが不意に停止した、または動かない場合

上記のような状況になっていないか確認し、問題を解決してください。障害物が原因で下方方向に動かない場合は、タッチパッドかフットスイッチを使用してチェアーを上げ、障害物を取り除きます。

手動操作によるチェアのポジション調整



重要 A-decのタッチパッドとフットスイッチは、いずれも同じようにチェアを動かすことができます。タッチパッドのコントロールの詳細については、デリバリーシステム使用方法を参照してください。



警告 手動でチェアを操作したり、プリセットされたチェアコントロールを使用する際は、必ず予め患者が安全に着席していることを確認してください。チェアの稼働中は患者から目を離さないでください。特に小さな子どもや体の不自由な患者には、常に細心の注意を払ってください。

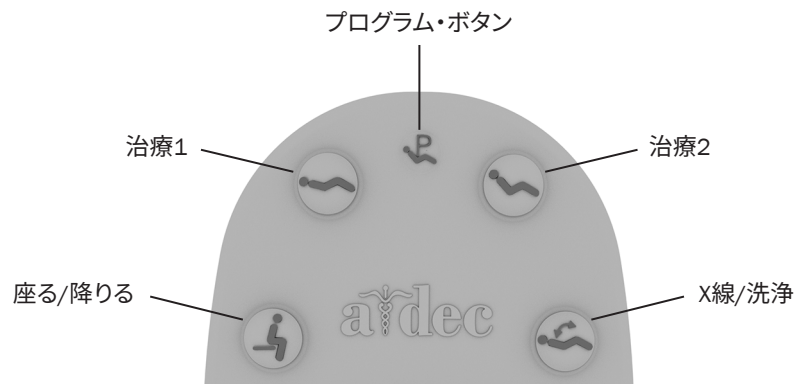
プリセット動作の実行中にチェアを停止するには、フットスイッチまたはタッチパッドにあるいずれかのチェアポジション設定ボタンを押します。










注 チェアの高さの上限を変更したい場合は、最寄りのA-dec正規取扱店にご連絡ください。

| アイコン/機能 | 動作/オプション |
|---------|-------------------------|
| ↑ ベース上昇 | ↑を長押しすると、チェアのベースが上昇します。 |
| ↓ ベース降下 | ↓を長押しすると、チェアのベースが降下します。 |
| → 背板上昇 | →を長押しすると、チェアの背板が上昇します。 |
| ← 背板降下 | ←を長押しすると、チェアの背板が降下します。 |

プリセットコントロールによるチェアのポジション調整





| アイコン | プリセット名 | 初期設定 |
|---|--------|---|
|  | 座る/降りる | チェアを座る/降りるのポジションに動かします。 |
|  | 治療1 | チェアのベースと背板を下げます。 |
|  | 治療2 | チェアのベースを下げて背板を途中まで上げます。 |
|  | X線/洗淨 | チェアをX線/洗淨のポジションに動かします。もう一度押すと、チェアが元のポジションに戻ります。 |



または、、、を押して、チェアをプリセットポジションに動かします。初期設定については、左下の表をご覧ください。


チェアのプリセットポジションのカスタマイズ






チェアのプリセット  または  をカスタマイズするには：

1. チェアを目的のポジションに合わせます。
2.  を長押しします。ビープ音が1回鳴り、プログラムモードになったことを示します。
3. 5秒以内に、現在のチェアのポジションに新たに割り当てたいプリセットアイコンを押します（たとえば、 を押します）。ビープ音が3回鳴り、新しい設定が保存されたことを示します。

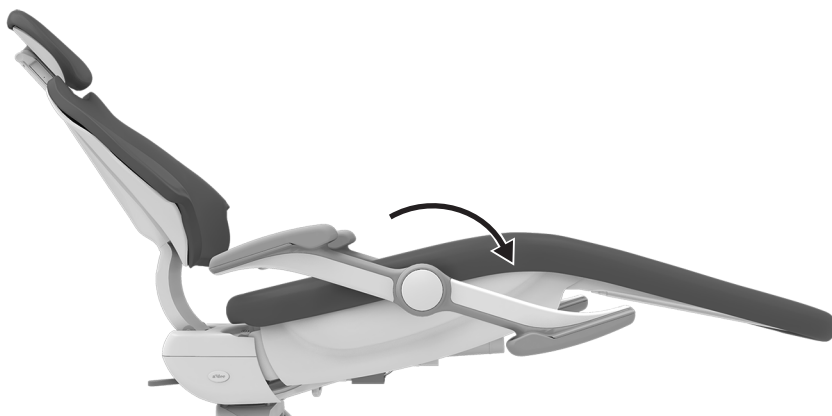
チェアのプリセット「X線/洗淨」のカスタマイズ

プリセット  は、初期設定では、チェアを動かして患者をまっすぐ座らせ、X線検査を行ったり、患者がスピットンを使えるようにします。 ボタンをもう一度押すと、チェアが元のポジションに戻ります。

また、この  の機能を変更し、カスタマイズしたチェアのプリセットポジションとして使用することもできます。機能を変更するには：

1.  と  を同時に3秒間長押しします。
 - ビープ音1回は、 が別のカスタマイズ可能チェアプリセットボタンに設定されたことを表します。
 - ビープ音3回は、 がX線/洗淨プリセットに設定されたことを表します（X線/洗淨ポジションと元のチェアポジションとの間で切り替わります）。
2.  を別のカスタマイズ可能チェアプリセットに設定してあり、それ以外のチェアポジションを割り当てたい場合は、上記「チェアのプリセットポジションのカスタマイズ」に記載された手順に従ってください。

患者が座る前に行うチェアの準備



アームレストの位置調整



警告 けがをするおそれがありますので、チェアを動かすときは、患者がアームレストの後ろや背板の下に腕を下ろさないように注意してください。

アームレストを邪魔にならない位置に動かして、患者が座る/降りるの動作をしやすいようにしたり、直接作業時のオペレータのアクセス性を高めることができます。アームレストを引き上げるか押し下げて、位置を調整してください。

正しい座り方の指示

患者がチェアに正しく座った状態にするには、チェアにできるだけ深く腰掛けてもらいます。これによって、腰の支えを最適な位置に調節し、患者にとっての快適さを確保できます。

快適な状態を保つため、患者には前腕をアームレスト上に置くか、体の上で軽く組むようにしてもらいます。

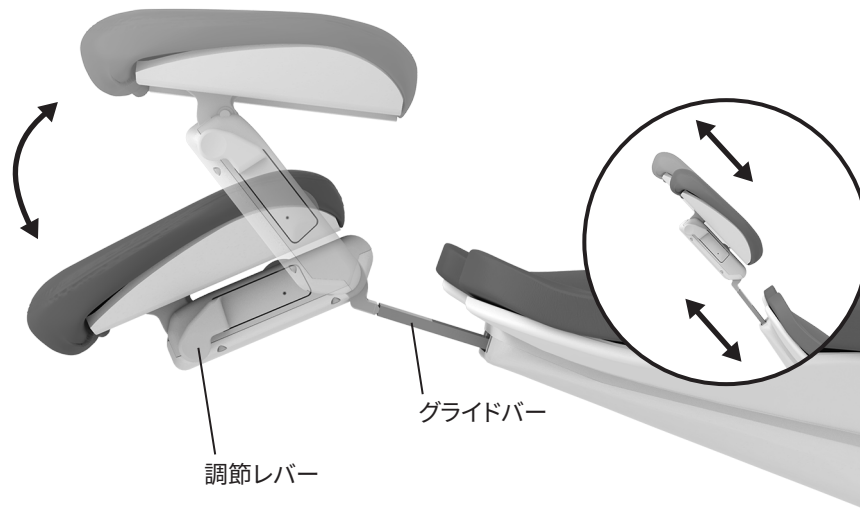


ヒント 患者がチェアに座る前に、ヘッドレストを高めの方に動かしておきます。これによって、患者はチェアに深く腰掛けやすくなります。患者が座ったら、患者が快適に過ごすことができ、かつオペレータが口腔にアクセスしやすいよう、ヘッドレストを調整します。



ヒント 患者がチェアから降りる際に支えを必要とする場合は、アームレストを動かさず、後方位置のままにしておきます。

ヘッドレストの位置調整



二重連接型ガイド式ヘッドレストは、口腔内に手が届きやすくするとともに、患者が心地良く治療を受けられるよう、いくつかの機能を備えています。

ガイドバーを使って、患者の座高に合わせてヘッドレストの位置を調節します。ヘッドレストの高さを調節するには、ヘッドレストを引き上げるか押し下げて、希望の高さに合わせます。ガイド式のヘッドレストクッションも、高さ調節に使えます。



警告 ガイドバーが推奨される最大限の高さを超過すると、ガイドバーの患者側の部分に警告ラインが見えます。この警告ラインが見える位置では、ヘッドレストは使用できません。

ヘッドレストのポジションは片手で簡単に調節できます。調節レバーを押して、ヘッドレストの位置を調節します。レバーを離すと、ヘッドレストがその位置に保たれます。

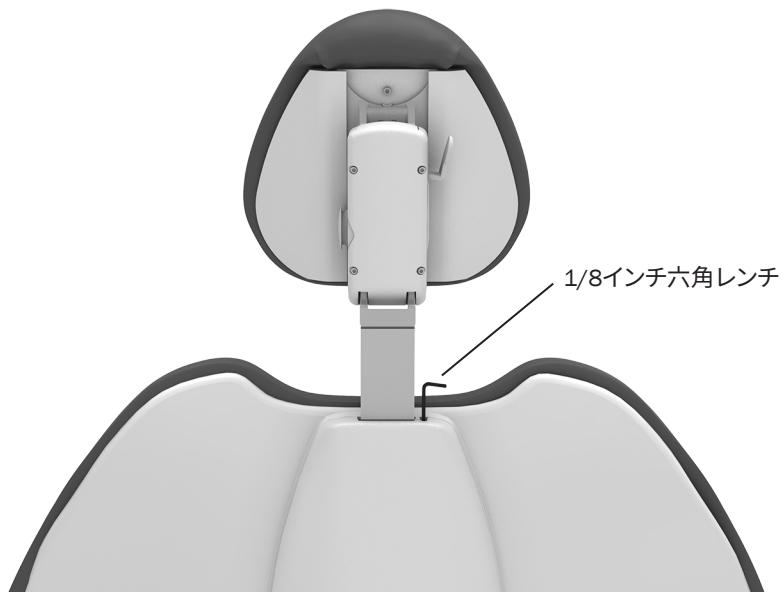
車椅子用のヘッドレストの位置調整



車椅子用にヘッドレストの位置を調整するには：

1. 歯科用椅子からヘッドレストを取り外します。
2. ヘッドレストを180度回転させてガイドバーを止まるまで背板の中にスライドさせます。
3. 必要に応じて歯科用椅子を旋回させ、背板を完全に直立した位置にします。
4. 背板同士を合わせるように、車椅子と歯科用椅子を配置します。
5. 歯科用椅子を上下に動かして、ヘッドレストの高さを調節します。
6. 車椅子の車輪をロックします。

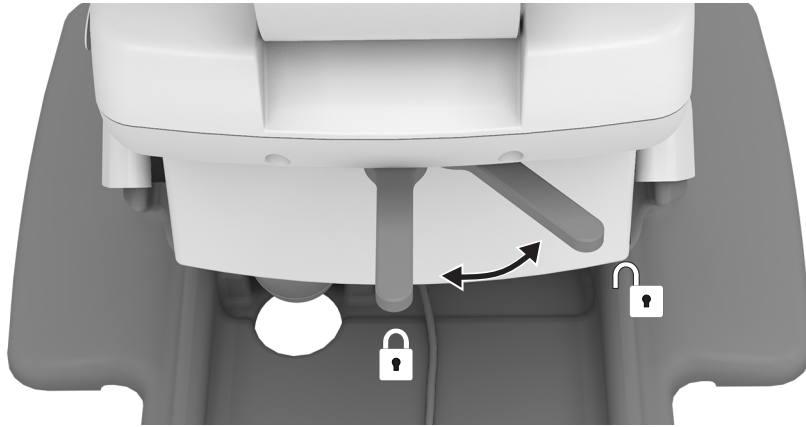
ヘッドレストのガイドバーの張力調整



ヘッドレストが下向きに動いてしまったり、上下しにくい場合は、ガイドバーの張力を調整する必要があります。

張力の調整には、1/8インチ六角レンチを使用します。張力を強めるには、調整ネジを時計回りに回します。

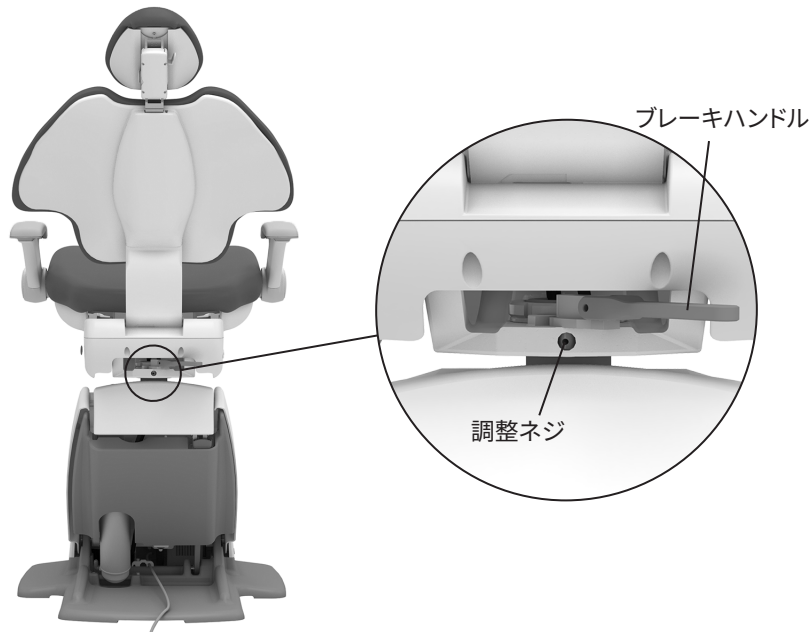
チェアの旋回ブレーキの操作



チェアは中心から左右に30°の範囲で自由に回転します。チェアの旋回ブレーキはチェアの回転を制限し、治療中にチェアが動かないようにします。

旋回ブレーキを解放するには、ブレーキレバーを右方向に引きます。ブレーキをかけるには、ブレーキレバーを左方向にしっかりと引きます。

チェアの旋回ブレーキの張力調整

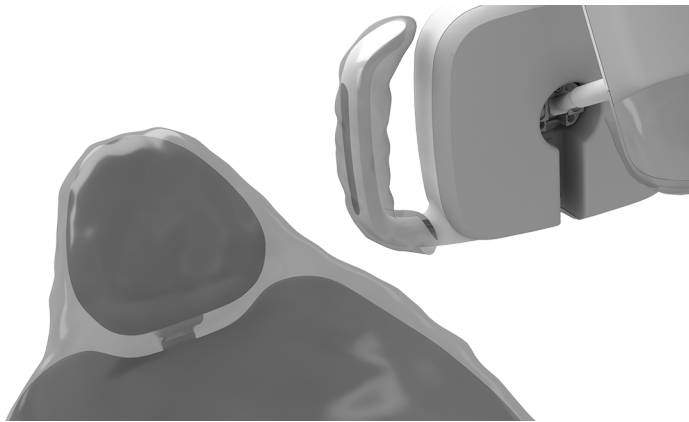


ブレーキがかかってもチェアが左右に旋回してしまったり、ブレーキを解除しているときに動かしにくい場合には、旋回ブレーキの張力を調整します。張力を正しく調整すれば、ブレーキを十分利かせたときにブレーキハンドルが中央の位置に来ます。調整を行うには：

1. ブレーキハンドルを右方向に動かします。
2. チェアに背板取り付け部がある場合は、チェアを旋回させて調整ネジにアクセスします。
3. 7/64インチ六角レンチを使い、ブレーキ抵抗を強めるには張力調整ネジを時計回りに、緩めるには反時計回りに回します。少し調整するだけで、張力が大幅に増減します。

クリーニング/保守

バリア保護



注 メーカーが規定しているバリアの使用および廃棄方法については、バリアの取扱説明書を参照してください。

張地の寿命の延長



注意 家庭用漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）や、塩素、イソプロピルアルコール（容量基準で25パーセントを超えるもの）、または過酸化水素が含まれるその他の製品を使用して張地をクリーニングまたは消毒しないでください。劣化が速まり、張地が損傷を受けることがあります。

A-decでは人為接触面と器具接触面の両方にバリア保護を推奨しています。人為接触面とは人の手が触れる部分で、歯科治療中に交差汚染を引き起こす可能性がある場所を指します。器具接触面とは、器具などの無生物の物質が接触する場所を指します。

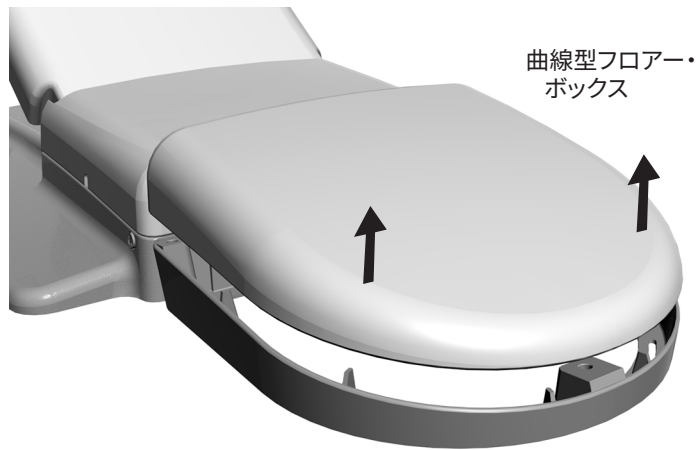
米国では、米国食品医薬品局（USFDA: U.S. Food and Drug Administration）の医薬品適正製造基準（CGMP: Good Manufacturing Practice）に従って生産されたバリアを使用する必要があります。米国以外の地域では、医療機器に関する各地の規制に従ってください。



重要 （バリア保護が適用されない、あるいはバリアに支障が生じた場合の）人為接触面と器具接触面に推奨されるクリーニングや薬品による滅菌方法については、『A-dec器具滅菌取扱説明書』（部品番号(P/N)85.0696.05)を参照してください。

A-dec張地の品質を保つには、化学薬品に頼らずに、バリア保護カバーを使用します。バリアは張地の寿命を大幅に延ばし、高級感のある外観とソフトな感触を保つのに役立ちます。張地をクリーニングするときは、食器用中性洗剤と水を使用します。装置表面に滅菌剤を使うのは、バリアに支障が生じたとき、または張地に目に見える汚れが付いたときだけにしてください。詳細については、『張地メンテナンスガイド』（部品番号(P/N)86.0501.05)に記載されています。この文書は、www.a-dec.comのリソースセンターから入手できます。

ユーティリティへのアクセス



注意 カバーを取り外したり交換したりする場合は、配線や管が損傷しないように注意してください。カバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

チェアのユーティリティは、チェアの下に曲線型フロアー・ボックスの中にあります。通常は、電源コンセントのほか、空気や水、バキュームをつなぐシステム接続部がこれに含まれます。アクセスするには、カバーをフロアボックスのフレームから持ち上げて外します。保守については、最寄りのA-dec正規取扱店にお問い合わせください。

仕様



チェアの最大耐荷重

患者の体重: 227 kg (500ポンド)



重要 チェアの付属品の重量制限、電氣的仕様、記号の説明、ならびにその他の規制要件に関しては、『*規制情報、仕様、および保証書*』(部品番号(P/N)86.0221.05)に記載されています。この文書は、www.a-dec.comのリソースセンターから入手できます。



注 仕様は予告なく変更されることがあります。要件は地域によって異なる場合があります。詳細はA-dec正規取扱店にお問い合わせください。



A-dec本社

2601 Crestview Drive
Newberg, Oregon 97132
United States

電話：1.800.547.1883 米国/カナダ国内
電話：+1.503.538.7478 米国/カナダ国外
www.a-dec.com

A-dec Australia

Unit 8
5-9 Ricketty Street
Mascot, NSW 2020
Australia

電話：1.800.225.010 オーストラリア国内
電話：+61.(0).2.8332.4000 オーストラリア国外

A-dec China

A-dec (Hangzhou) Dental Equipment Co., Ltd.
528 Shunfeng Road
Qianjiang Economic Development Zone
Hangzhou 311100, Zhejiang, China

電話：400.600.5434 中国国内
電話：+86.571.89026088 中国国外

A-dec United Kingdom

Austin House, 11 Liberty Way
Nuneaton, Warwickshire CV11 6RZ
England

電話：0800.ADEC.UK (2332.85) イギリス国内
電話：+44.(0).24.7635.0901 イギリス国外



86.0761.05 Rev D
発行日 2020-03-10
Copyright 2020 A-dec Inc.
無断複写・複製・転載を禁ず。